

# 当面の技術対策（畜産編）

令和4年10月1日

発行：ゆとりみらい21農業推進協議会指導部会

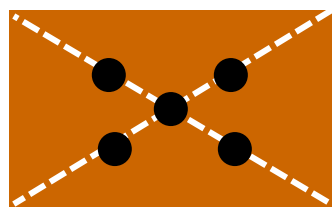
## 1 土壌サンプリングについて

施肥改善や減肥を検討する際は、土壌分析を実施しましょう。土壌サンプリング方法は以下のとおりです。土壌の深さによって養分の含有量は異なるので注意しましょう。また、土壌の性質（土壌区分・土性）も分析に関わる重要な情報となるので、正確に記しましょう。

- (1) 維持管理草地：牧草の株を避け、ルートマットの有無にかかわらず深さ5cmまでの層を採取する。
- (2) 改良対象草地：プラウで反転耕起したあとに表層になる部分（耕起深15cm）
- (3) サイレージ用とうもろこし畑：作土を採取する（耕起深、概ね20cm前後）

### 土壌採取地点

- ・ほ場中央付近で対角線に5カ所以上採取する。
- ・水の流れた跡や極端な傾斜がある場所、枕地になるような端は避ける。



## 2 サイレージ用とうもろこし畑の心土破碎について

大型機械の走行により耕盤層が硬く透水不良となっているほ場は、明きよの整備と心土破碎（サブソイラなど）の施工を行いましょう。

### (1) 明きよの整備

- ・木の枝や葉、土砂を取り除き、排水の流れを促す

### (2) 心土破碎のかけ方

- ・ほ場が乾いた状態で行う
- ・なるべくゆっくりかける（時速3～4km程度）
- ・耕盤層の深さまで、あるいは暗きよ疎水剤の上端まで入れる
- ・明きよ排水とクロスさせるように、間隔を狭くかける

※一度施工しても効果は徐々に薄れるので、毎年かけることが望ましい

## 3 トラクター等の大型作業機の移動における注意点

本年は、雨が多く土壌中の水分が高いため、土塊や泥がタイヤ等に付着しやすく、車道に出た際に散乱しがちです。道路に落ちた土塊や泥は、歩行者の通行の妨げになり、車両の走行時においても大変危険です。やむを得ず落としてしまった場合は速やかに取り除きましょう。